



医療法人社団 唱和会

明野中央病院



2011年度 事業報告書 vol.5

(2011年4月～2012年3月)



当院地域医療連携室佐藤善紀作バードカービング(野鳥の彫刻)作品



病院理念

医療・介護を通じ、患者さんの生活の質の向上に努める

基本方針

- 一．家庭的な優しい医療・介護の実施に努めます
- 一．地域の皆様から安心・信頼される病院づくりに努めます
- 一．患者さんひとりひとりの権利を尊重するように努めます
- 一．たえず医療・介護の質の向上に努めます
- 一．地域の健康増進・病気の予防に努めます

ご 挨拶



院長 木下 昭生

当院は、昭和 49 年に開院し、今年 1 月で 38 周年を迎えました。改めまして、当院に対する皆様方のご支援、ご協力に心から感謝御礼を申し上げます。

さて、わが国は、ご存じのように少子高齢化が世界でも例のない速さで進み、現在、現役世代が 3 人で 1 人の高齢者を支える形が、2025 年には 1.8 人で 1 人を支える形になるとされています。一方、社会保障費の膨張の中、平成 24 年度の国の予算は、実質的な歳出が 96 兆円を超え、歳入の約半分に当たる 44 兆円を国債に依存する異常な事態となっております。このような厳しい財政の中、医療費の抑制は国の喫緊の課題とされ、治療を終えた一人の高齢者が大都会の急性期病院から、歩けないにもかかわらず介護職員に背負われてアパート 2 階の独居の自宅へと追い返される姿が、先日（5 月末）の NHK 『クローズアップ現代』で放送されました。国の定めた医療制度と患者さんの間で困惑している医師と看護師の姿が印象的でした。国は、今後、高齢者医療をどう考えていくのか、経済的負担を誰が負うべきなのか、真剣に国民に問いかける必要があると思います。

当院は、昨年秋にアクロスホールにて、元女子プロボウラーの中山律子さん、宮崎大学医学部整形外科の帖佐悦男教授をお招きし、ロコモティブ症候群についての講演会を催し多くの地域の皆様にご来場いただきました。改めて御礼申し上げます。

昨年 1 年間の当院の歩みをまとめた年報が完成しました。当院の状況を少しでもご理解いただければ幸いです。



目 次

地域交流会（ふくろうの会）	1
ボランティアの会	3
病院沿革	4
病院概要	5
職種別職員数	6
設備の概要	6
組織図	7
年間行事	8
明野中央病院健康セミナー	13
コラム	16
花日記 ～2階ウッドデッキから～	17
今昔写真館	19
部門報告	
<医療安全管理室>	22
<地域医療連携室>	24
<こつ・かんせつ・リウマチセンター>	25
<診療部>	
内科	26
消化器内科	28
整形外科	29
麻酔科	32
診療情報管理室	33
<医療技術部>	
薬剤科	34
栄養科	35
リハビリテーション科	37
放射線科	41
臨床検査科	45
輸血科	49



<看護部>

看護部	5 0
外来	5 2
2階病棟	5 3
3階病棟	5 6
手術室	5 8

<事務部>

事務部	6 1
医療事務課	6 2
情報システム管理課	6 3

委員会報告

<委員会>

医療事故防止委員会	6 5
感染対策委員会	6 8
褥瘡・栄養対策委員会	7 0
サービス向上委員会	7 1
教育委員会	7 2

<その他>

N S T (栄養サポートチーム)	7 3
糖尿病相談会	7 5
親和会	7 6
ニュースリリース	7 7

新入職員 1年を振り返って	8 1
入職20年を振り返って	8 3
入職10年を振り返って	8 4
入職 5年を振り返って	8 5

大分高等学校美術専攻クラス作品展	8 7
------------------	-----

地域交流会（ふくろうの会）

1. 設立目的

当院は、病院理念に「医療・介護を通じ、患者さんの生活の質の向上に努める」を掲げ、地域の皆様から安心信頼される病院作りを目指し日々努力しております。さらに今後も真に地域に根ざした医療機関として皆様方の期待に応えられる病院としてのあるべき姿を模索しております。

そこで、広く地域の皆様方と意見交換を行い、医療全般に関する苦情、要望、地域の病院として当院の果たす役割等についてご意見を頂きたく設立しました。

2004年9月発会。

2. メンバー 2011年4月現在（敬称略）

- 古川 慶吾 （ふくろうの会顧問）
- 湯田 国男 （ふくろうの会会長・明野さつき町自治会長）
- 中山 満 （明野日の出町自治会長）
- 岩崎 祐一 （明野高尾自治会長）
- 首藤 和也 （明野東町自治会長）
- 小柳 義明 （明野旭町自治会長）
- 飛河 克子 （日本リウマチ友の会大分支部長）





第13回 明野中央病院・地域交流会（ふくろうの会）

2012年1月13日(金) 12:30~13:30

1. 院長あいさつ
2. ふくろうの会紹介
3. 日本リウマチ友の会紹介
4. 昼 食
5. 回復期リハビリテーション看護師資格を取得
～回復期リハビリテーション病棟 看護師長 玉井栄子～
6. 栄養改善事業功労者賞を受賞 ～栄養科 科長 中村佳子～
7. 大分高等学校美術専攻クラス作品展を開催
8. 当院の近況報告
新春明野寄席 1月15日
第25回 糖尿病相談会 ～食事療法～ 3月 6日
看護の日 ～中学生一日看護師体験～ 5月 7日
第7回 ガーデンティーパーティを開催 5月20日
春の防災訓練 5月27日
第5回 吉田寛氏講演会 6月 4日
第26回 糖尿病相談会 ～食事療法～ 6月18日
中学生職場体験 9月 7日
第27回 糖尿病相談会 ～体重管理方法～ 11月 5日
第8回 ガーデンティーパーティを開催 11月11日
明野中央病院健康セミナー 11月20日
秋の防災訓練 11月25日
クリスマス会 12月 3日
9. 当院の診療内容について
10. 当院で亡くなられた方のご報告
11. 意見交換
12. 湯田会長あいさつ

※出席者（順不同）

湯田 国男 様（ふくろうの会会長 明野さつき町自治会長）
中山 満 様（明野日の出町自治会長）
岩崎 祐一 様（明野高尾町自治会長）
首藤 和也 様（明野東町自治会長）
飛河 克子 様（日本リウマチ友の会大分支部長）

※当院出席者

木下院長、中村副院長、藤川センター長、鈴木看護部長、池田看護副部長
里谷事務長、安部総務課長



ボランティアの会

1. メンバー 2011年4月現在（敬称略）

会長 志水 篤信

副会長 赤田 久代 田代 千枝

加来 邦子 倉住 れい子 小柳 巴 坂井 礼子 佐々木 友江

高平 潤子 高木 美和 三宮 麗子 石田 洋子

2. 活動内容

- ・グリーンボランティア ・各種イベント企画 ・クリスマス会
- ・ガーデンティーパーティー ・講演会手伝い等



ボランティアの会



花壇の植え替え



ガーデンティーパーティー



クリスマス会



病院沿革

- 1974（昭49）年 1月 医療法人社団恵愛会 大分中村病院の分院として開院。（病床数 65 床）
同時に『救急指定病院』『労災指定病院』の指定取得
- 1978（昭53）年 11月 『医療法人社団唱和会 明野中央病院』として、分離独立
- 1997（平 9）年 3月 『日本整形外科学会研修施設』認定取得
- 1999（平11）年 5月 第一期増築工事完成（病床数 70 床）
バイオクリーンルーム設置（手術室）
ヘリカルCT設置
- 同 年 7月 身体障害者福祉法第 19 条の 2 の規定による『更正医療を担当する医療機関』
の指定取得
- 2002（平14）年 6月 第二期増築工事完成（病床数 75 床）
- 同 年 7月 「居宅介護支援事業所」を開設
MRI 設置
- 同 年 9月 パワーリハビリテーション機器導入
- 2004（平16）年 1月 一般病床 45 床、特殊疾患療養病棟（Ⅱ）（30 床）
- 2005（平17）年 9月 一般病床のうち、8 床を亜急性期病床として届出
- 同 年 10月 （財）日本医療機能評価機構 認定病院を取得
- 2006（平18）年 4月 亜急性期病床を 8 床から 10 床に増床
院外処方箋発行開始
- 同 年 8月 『訪問看護ステーション・ふくろう』開設
- 同 年 9月 マルチスライスCT設置
- 2007（平19）年 2月 特殊疾患療養病棟（Ⅱ）（30 床）を回復期リハビリテーション病棟に変更
- 2008（平20）年 1月 『日本手の外科学会基幹研修施設』認定取得
- 2008（平20）年 10月 回復期リハビリテーション病棟入院料 1（重症患者回復病棟加算）
- 2009（平21）年 7月 『こつ・かんせつ・リウマチセンター』開設
- 2009（平21）年 11月 社団法人日本リハビリテーション医学会による『研修施設』認定取得
- 2010（平22）年 4月 『日本高血圧学会 高血圧認定研修施設』に認定
『日本静脈経腸栄養学会 NST稼働施設』に認定
- 2010（平22）年 9月 『日本リウマチ学会教育施設』に認定
- 2010（平22）年 10月 （財）日本医療機能評価機構 認定病院を更新



病院概要 (2012年3月現在)

許可病床	一般病床 75床
標榜科目	内科／整形外科／リウマチ科／消化器内科 形成外科／リハビリテーション科／麻酔科（森正和）
主な施設基準	7：1入院基本料 回復期リハビリテーション病棟入院基本料1 亜急性期入院医療管理料I 脳血管疾患リハビリテーション料（I） 運動器リハビリテーション料（I） 呼吸器リハビリテーション料（I）
研修施設	日本整形外科学会研修施設 日本手外科学会研修施設 日本リハビリテーション医学会研修施設 日本高血圧学会研修施設 日本リウマチ学会教育施設
主な施設	一般病床 45床（亜急性期病床10床を含む） 回復期リハビリテーション病棟 30床 リハビリテーションセンター（作業療法室・理学療法室・言語療法室）
学会認定 専門医・指導医	日本内科学会 専門医 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 日本整形外科学会 専門医 日本脊椎脊髄病学会 指導医 日本手外科学会 専門医 日本リハビリテーション医学会 指導医 専門医 日本リウマチ学会 指導医 専門医 日本消化器病学会 専門医 日本消化器内視鏡学会 専門医 日本神経学会 専門医 日本麻酔科学会 専門医 日本集中治療医学会 専門医

職種別職員数

125名

(2012年3月31日現在)

医師	7名	診療放射線技師	3名
薬剤師	3名	臨床検査技師	3名
看護師	47名	臨床工学技師	1名
准看護師	11名	管理栄養士	1名
看護業務補助者	14名	栄養士	1名
理学療法士	10名	医療ソーシャルワーカー	1名
作業療法士	6名	事務職員	16名
言語聴覚士	1名		

設備の概要

電気設備

受電電圧	6,600V
契約電圧	230kV
負荷設備	負荷合計 700kW
	動力 300kW
	電灯 250kW
	放射線 150kW

発電設備

1号機	3相 220V	115kW
対象負荷 (屋内消火栓 手術室照明 診察室 ナースセンター 各階非常用コンセント)		

空調設備

ビル用マルチエアコン	三菱・ダイキン
三菱・ダイキン個別対応 (省エネ型)	

昇降設備

エレベーター	2基
ダムウェーター	1基

蒸気設備

給湯ボイラー	シンクロヒーター	100,000Kcal/H
--------	----------	---------------

防災設備

屋内消火ポンプ	5.5kW×1
P型1級受信機複合盤	



組織図

2012年3月31日





年間行事

2011年 4月 ○新入職員歓迎会

- 5月 ○救急蘇生研修会
○中学生1日看護師体験
○第7回 ガーデンティーパーティ
○防災訓練



救急蘇生研修会



防災訓練



中学生1日看護師体験





- 6月 ○第5回 吉田寛氏講演会
○医療安全管理研修会
○第6回 職員ボーリング大会



吉田寛氏講演会



医療安全管理研修会

- 7月 ○接遇研修会

- 8月 ○院内慰霊祭
○院内研究発表会
○ロボットスーツHAL実演研修会
○職員親睦会

- 9月 ○明野中学校職場体験
○大東中学校職場体験



中学校職場体験

- 10月 ○医療ガス研修会
○職員旅行（大阪・京都）
○倫理研修会



- 11月 ○NST（栄養サポートチーム）勉強会
○第11回 ボランティアの会
○第8回 ガーデンティーパーティ
○感染対策研修会
○明野中央病院健康セミナー
○防災訓練



ガーデンティーパーティ



防災訓練



- 12月 ○院内クリスマス会
○病院忘年会



院内クリスマス会

- 2011年1月 ○新春明野寄席
○感染対策研修会
○佐賀大学 松尾先生講演会



新春明野寄席



佐賀大学 松尾清美先生講演会



2月 ○個人情報研修会

3月 ○病院職員総会



新入職員研修会



院内研究発表会



菊の花展示



おひなさま



クリスマスツリー

明野中央病院健康セミナー

「肩・腰・ひざの健康のために さわやか！運動のすすめ」

11月20日(日)あけのアクロスタウン3階アクロスホールにて「第3回明野中央病院健康セミナー」を開催しました。今回は「ロコモ(ロコモティブシンドローム)予防」をテーマに取り上げ、肩・腰・ひざなどの運動器官の健康維持に対する運動の効果について専門家を迎えてさまざまな角度からスポットを当てました。ロコモ(ロコモティブシンドローム)とは、加齢などにより骨や関節、筋肉などの機能が衰えて、全身のバランス能力低下、転倒、骨折ひいては寝たきりなどにつながる危険性が高い状態のことです。この「ロコモ」予防に適度な運動が推奨されています。

セミナーに先立ち、当院職員による健康相談などの「健康フェア」を実施しました。血圧や血糖測定、骨粗鬆症のリスクを測る骨密度測定や、血管年齢、肺年齢測定検査、体力測定、最新の電動車椅子の試乗体験、リハビリ用のロボットスーツの体験コーナーなどに大勢の方のご参加をいただきました。



明野中央病院 健康セミナー

ロコモ(ロコモティブシンドローム)予防

肩・腰・ひざの健康のために さわやか！運動のすすめ

日時 平成23年11月20日(日)
12:00~16:00(セミナーは14:00~16:00)

場所 あけのアクロスタウン3階
アクロスホール

参加費 無料(どなたでも入場できます)
整理券をお配りしています。整理券は明野中央病院受付・明野地区自治会連合会・明野校区公民館・あけのアクロスタウン総合案内・OBS ボール受付カウンターで配布しています。

セミナーの前に！健康フェア開催
12:00~13:45

- 血圧、血糖測定、骨密度測定、血管年齢測定、体力測定など無料体験コーナー
- 電動車いす展示、栄養食事レシピ紹介など展示相談コーナー
- 最先端のリハビリ機器、ロボットスーツ展示コーナー



ボウリングの「さわやか律子さん」

スペシャルゲスト **中山律子(なかもりりつこ)**

社団法人日本ボウリング協会会長、ジャパンレディースボウリングクラブ会長、1970年代に起こった空前のボウリングブームの中で、「さわやか律子さん」の愛称で国民的アイドルに、1969年女子プロボウラーの1期生としてデビュー、翌年、女性初のパーフェクトゲームを達成、日本ボウリング界のヒロインとして人気、実力とも並向に、その後結婚、出産を経て家庭とプロ生活を両立、現在もボウリング普及のため技術指導や講演活動で全国を駆け回る多忙な日々、日本ボウリング界をパワフルに牽引する「さわやか律子さん」、その健康の秘密に迫ります。

特別講演「健康と長寿は運動から～「ロコモ」って知っていますか？」



NHKテレビ「きょうの健康」～ここが聞きたい名医にQ!解説者

宮崎大学医学部整形外科教授
運動器疾患の中でも、変形性関節症、関節リウマチ、骨粗鬆症、スポーツ疾患、腰痛症などの治療・研究に従事。医学の面からスポーツを支えるスポーツ医学の第一人者であり、ロコモ対策の専門家。日本整形外科学会専門医、日本リハビリテーション医学会専門医、日本リウマチ学会指導医、スポーツドクター

帖佐 悦男
(はしかた えつお)

●主催：明野中央病院 ●共催：明野中央病院ふくろうの会
●後援：大分合同新聞社、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAS大分朝日放送、朝トキハイイングストリー、OBSボウリング
●お問い合わせ：明野中央病院 電話 097-558-3211 ※要覧もご下さい

体操実演指導「ロコモ体操でロコモ予防を！」



宮嶋 良明
(みやま しょうめい)

NHKテレビ「きょうの健康」ロコモ体操インストラクター

宮崎大学医学部附属病院、リハビリテーション部長助院長
主に運動器疾患のリハビリテーションと研究に従事。運動器リハビリテーション、スポーツリハビリテーションの専門家。病院での治療・研究のかたわら地域の健康教室で体操指導するなど、幅広くロコモ体操の普及に取り組み、理学療法士、日本体育協会公認アスレチックトレーナー

ロコモチェックで思いあたることはありますか？

家のやや重い仕事が困難である
(掃除機の使用、布巾の上げ下ろしなど)

2kg程度の重い物をして持ち帰るのが困難である
(1リットルの牛乳パック2箱程度)

15分くらい続けて歩けない

7つのロコモチェック

ひとひとチェックはなれば、ロコモである心配があります。

片脚立ちで靴下がはけない

家のなかでつまずいたり滑ったりする

階段を上るのに手すりが必要である

横断歩道を青信号で渡りきれない

※日本整形外科学会 ロコモハンドブック2010年版より

ロコモ(ロコモティブシンドローム)とは～

加齢などにより骨や関節、筋肉などの体を動かす機能が衰えて、全身のバランス能力の低下、歩行困難、転倒、骨折、ひいては寝たきりなどにつながる危険性が高い状態のことです。ひざ痛や腰痛はそのサインかもしれません。「階段がづらい」「布巾の上げ下ろしがづらい」などありませんか？この「ロコモ」の予防として、適度な運動が推奨されています。スポーツの秋！イキイキと輝く元気で活動的な毎日のために、無理のない自分に合った運動から始めてみませんか？

**内科・整形外科・リウマチ科・消化器内科
形成外科・リハビリテーション科・麻酔科(麻正科)
こつ・かんせつ・リウマチセンター**

日本医療機能評価機構認定病院

明野中央病院

受付時間 8:30~11:30・14:00~17:30
休 診 土曜日午後・日曜日・祝日

558-3211 FAX (097) 558-3709
(097) 558-3211 大分市明野東2丁目7番33号
明野中央病院

mail: shenchp@ml.com.or.jp ホームページ 明野中央病院



血圧・血糖測定コーナー。検査の結果を看護師が説明しました。



健康フェア会場は多くの方でにぎわいました

14 時からのセミナーでは、特別講演として「健康と長寿は運動から～『ロコモ』って知っていますか?」と題し、宮崎大学医学部整形外科教授の帖佐悦男先生の講演を行いました。帖佐先生は、腰やひざなどの運動器疾患の研究・治療の専門医であり、医学面からスポーツ選手をサポートするスポーツドクターの第一人者としても幅広くご活躍、NHK テレビ「ここが聞きたい!名医に Q」にも出演しロコモティブシンドロームについて解説するなど、「ロコモ対策」の専門家です。講演では、7つのロコモチェックやロコモとメタボの関係、高齢者の運動の注意点など、ユーモアを交えてわかりやすく説明されました。

帖佐先生の講演に続き、「ロコモ体操でロコモ予防を」と題し、宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション部技師長の宮崎茂明先生による運動の実演指導を行いました。宮崎先生は、理学療法士、日本体育協会公認アスレチックトレーナーであり、大学病院での治療・研究の傍ら、帖佐教授と共にロコモ予防の体操の開発・普及に幅広く活躍されています。講演では、ロコモ体操について具体的に解説をした後、実際にステージ上で実演していただきました。



特別講演の宮崎大学医学部整形外科
帖佐悦男教授



宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション部
技師長 宮崎茂明先生による体操の実演指導



本セミナーには、特別ゲストとして「ボウリングのさわやか律子さん」こと、中山律子さんをお迎えしました。中山さんは、1970年代に起こった空前のボウリングブームの立役者であり、女性初のパーフェクトゲーム達成やテレビCMの大ブレイクなど、人気、実力共に日本ボウリング界の第一人者として活躍されてきました。現在は、社団法人日本プロボウリング協会会長、ジャパンレディースボウリングクラブ会長として、日本のボウリング界全体の運営・指導に当たっています。講演では、ボウリングとの出会い、現役時代の苦労話、現在の職務や日頃の健康法など、「さわやか」笑顔で話されました。会場にはOBSボウルのジュニアボウリングクラブの子供たちも集まってくれており、ステージ上でボウリングワンポイントレッスンも行われました。最後に、当日の講師3名に当院の中村副院長も加わり、「自分に合った運動で、イキイキ活動的な毎日を！」をテーマに座談会を行いました。会場の参加者からの質問にも答えるなど、ステージと会場が一体となったアットホームな座談会となりました。



特別ゲスト中山律子さんの講演。
後半にはボウリングのワンポイントレッスンも行われました。



講師3名に当院の中村副院長が加わった座談会。
会場からは健康に関する質問が多く寄せられました。

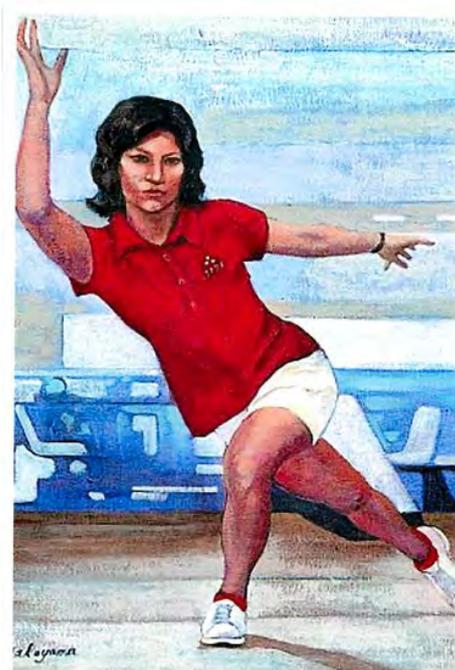


会場は大勢の参加者を迎えて大盛況でした。

「コラム」

ちよっと一息

中山りつ子さんに会いに行った。病院主催の健康セミナーの講演依頼のためである。灼熱の太陽が照りつける真夏の日であった。場所は品川、とあるビジネスホテルの喫茶店で待ち合わせた。我々の世代にとっては、「な、か、や、ま、りつ子さん♪♪」のテレビ CM でおなじみの超有名プロボウラーで、現在は日本ボウリング協会の理事長という要職にあるという。いやが上にも緊張し汗だくで喫茶店に入った。「九州の田舎の一民間病院の企画に乗ってくれるだろうか?」「OK してくれたとしても法外な要求があるかも?」不安は尽きなかった。私は常日頃より海軍 5 分前を励行しており、喫茶店には約束の 5~6 分前に到着したが、中山さんはマネージャーを伴ってすでに着席されていた。しかも下座（窓側でない方）に。慌てて歩きながら名刺を探りつつ近付いていくと、それとわかったのだろう、ぱっと立ち上がり「遠路ご苦労様でした」と深々と頭を垂れられた。こちらも立ち止まり最敬礼である。頭を上げる際お互いぶつかりそうになり大笑い。これが中山さんとの出会いであった。講演依頼の件で病院側の細かいお願いなどをしたが、「私にできることなら何でもおっしゃってください」と非常に好意的、協力的で、とても気さくで優しく、有名人らしくない謙虚な対応。緊張も吹き飛びいろいろなお話を伺った。秋の健康セミナー当日にはマネージャーも帯同せず一人で来られ、健康に関する立派なお話をいただいた。講演の終わりには地元ボウリングクラブの子どもたちに実技指導をしていた。本当に一つのことを極めた方、頂点に立った方はすごい！小さな身体から出る“気”（今ふうに言えばオーラ）がみなぎっており、それでいて優しい。偉ぶったところがない。（どうしてこうも医学会と違うのか!）セミナー終了後、いろいろお話しも伺ったが、なんと！中山さんは絵描きになりたかったそうである。みなさん知らなかったでしょ。日頃は忙しくなかなか絵を描く時間が取れないと言いながら最近の自作品を見せてくれた。まあ私の雑言はこれぐらいにしてすばらしい中山作品を御覧ください。





花日記 ～2階ウッドデッキから～

2階ウッドデッキの花だんにはボランティアの方々が生けた四季折々の花が咲いています。
傍らの「花日記」には多くの書き込みが・・・

約1ヶ月の入院でしたが本日退院となりました。初めての入院、手術で不安もありましたが主治医の先生、スタッフの方々に支えられ本当に感謝しております。ありがとうございました。



2年ぶりに身内が入院しました。相変わらずお花が美しくほっとしています。
病院に来るのは気が重いですが、1階も2階も花が美しくよくお手入れされているなど感心しています。心が和みます。ありがとう！！



1ヶ月余りの入院でした。花に目が心がなごみました。ありがとう。

久しぶりに外の空気に触れて……。暑かったです。
でも、季節の移り変わりを感じることができました。



去年 5~6 月にこのベランダによく来ました。今年、又 1 ヶ月お世話になります。
1 つ 1 つ楽しくながめさせていただきます。ありがとう。



お部屋をもう 5 回も替わりましたが、毎日 2 度はこの談話室に来ます。
大きなフヨウや普通より元気な稲を毎日ながめます。



10 月 12 日（水）に姉が入院しました。
ガーデニングボランティアの方々、ご苦労でございます。
シクラメンの咲く季節ですね。色鮮やかに輝いて 12 月も間近になり花たちが来春を待っていることでしょう。どうぞよろしく願い致します。
皆様のあたたかい心嬉しいです。ありがとう。

9 日に入院し、12 日に手術をしました。この数日で寒さが厳しくなり、体調を崩さない
様にしないと。動けなくなり、改めて家族の大切さとありがたみを痛感した。
手術前日には、妻に身体を洗ってもらい、感謝の気持ちで一杯です。もうすぐ退院するので
妻、家族へ迷惑掛けた分恩返しが出来たらと思います。
テラスのお花の管理お疲れ様です。

受付窓口の改築

平成9の改築前までの受付窓口は現在の売店の位置にありました。残念ながら2枚ともカーテンを引いて受付が閉まっている写真ですが、上の写真には病院の模型や当時は可能だった喫煙用の灰皿も見受けられます（現在は敷地内全館禁煙）。下の写真の奥に見える廊下は手術室・薬剤科・リハビリテーション室・放射線科がありました。改築後は現在の場所は売店になり、新しい受付では当院を受診する患者さんを笑顔で迎えています。



平成 24 年現在

病院職員寮

明野中央病院 今昔写真館



病院の職員寮

当院には職員向けの寮が完備されていた時期があり、職員だけでなく看護学生なども入寮していました。現在は、老朽化に伴う取り壊しで寮はなくなり、第二駐車場の一部となっていますが、当時入寮していた新人看護師や看護学生だった職員が、今では看護部を牽引する人材へと成長し、患者さんのために頑張っています。



平成 24 年現在